



有松まちづくりの会

○1月度 役員会（1月28日）

①今後の事業構想案

次の項目が構想案としてだされ、今後検討することになりました。

- ・「有松福よせ雛」の実施
- ・「晩秋の有松を楽しむ会」への協力
- ・刊行物の電子データ化（会報「有松」、「有松かわら版」、「有松よもやまばなし」）
- ・案内看板の設置（町並み保存地区、重伝建地区）
- ・小路名称の付与
- ・おこしもん木型の製作（有松を表すおこしもんの木型）
- ・東海道道しるべ石柱の移設
- ・有松歴史発掘調査
- ・有松小公園の新設（区画整理事業の構想復活）
- ・その他

②日本遺産認定進捗状況（歴まち室）

申請書は文化庁に1月25日受理されました。

申請書は行政主導でなく、地元主導の申請であることが強調されました。

昨年の実績から、4月頃の審議会で審査され、5月頃決定の運びになります。

なお、今年の申請は100件を超え、15件程度の認可予想で大変きびしい認定になります。

有松天満社 元旦祭（1月1日）

平成最後の初詣に、有松天満社には夜11時頃から参拝の人たちが本殿前の石段に並び始め年が明けのを今か今かと待っていました。午前0時を過ぎる頃には境内の広場を突き抜け下の階段まで多くの人が集まってきました。風こそなかったものの底冷えのする寒い中、新年を祝うカウントダウンの発声も起こり新年のお祝いムードを盛り上げていました。

今年は二の鳥居を潜った先に、ミチアカリのイベントでも飾られた竹灯りが参拝者を出迎えてくれました。西町で見た幽玄な光景が再現され、町との一体感そして繋がりを感じることができました。

元日の朝から昼にかけても参拝者は後を絶たず、正殿前には長い列ができていました。参拝を終えた人々は、お鈴払いを受けたり、おみくじ付きの鶯（うそ）や猩猩（しょうじょう）などの象徴品を買い求め、今年を占っていました。今年は良い年でありますように。有松天満社から善男善女の願いを込めた祈りが聞こえてきそうです。



本殿にて参拝



参拝者の列

有松中学校 地域学習（1月11日）

昨年の12月13日に、有松中学校1年生の地域学習（座学）が行われました。この地域の自然や歴史、文化や産業など12の講座（下記）の中から、自分たちが興味や関心が持てそうな講座を選択し、地元の方から学びました。

年明けの1月11日は、座学で学んだことを基に現地での学習・観察・体験のときとなりました。

『中学生の皆さんには、新しいことを学んでみたいという知的好奇心や探究心があふれています。地域学習で得た知識や経験は、きっと心に深く残るものと思います。

有松という地域のことを一つでも多く知ること、クラス、学校、家庭そして地域を理解し、愛し愛される中学生になってほしいと思います。』（エールと感想）



座学の様子

- ・有松のまつり
- ・有松絞り
- ・桶狭間太鼓
- ・農業
- ・酒造り
- ・緊急災害対策
- ・どまつり
- ・ボクシング
- ・桶狭間の合戦
- ・有松村の歴史と町並み保存
- ・昭和の暮らしと戦争
- ・大高緑地の自然

左義長（1月14日）

1月14日、有松中学校東の秋葉神社前庭で100年以上続く地域の行事、左義祭が行われました。

火伏せの守り神、秋葉神社のお祭りでどんど焼き、どんど焼きとも言います。竹を3～4本組み、松飾り、前年の守り札、注連縄（しめなわ）等を燃やします。

その火で焼いた餅を食べると1年無病でいられると言われます。また燃えた残り灰を家の周りに撒くと災いを除いてくれるとも言われています。

同日、天満社においても左義長の行事が行われ、多くの皆さんが持ち寄ったお札、注連縄、松飾り、書初めなどが燃やされていました。

雨の無い日が続き空気がカラカラに乾いています。有松の町にとって火事や災いのない1年でありますようにと祈ります。



東町秋葉神社



有松天満社
左義長

有松あないびとの会 総会・新年会（1月16日）

町並み案内を始め、様々な行事で活動されている有松あないびとの会の総会が、「小や町」で行われました。

昨年の5月、成田治さんから会長を引き継がれました鈴木義光さんから、昨年はあないびとの会の法被を新調したことを始め、当会の主催で、あないびとの会15周年記念ということで、「お話し会」や「町並み見学会」を企画・実現できたことなどの成果を話されました。今年は各行事担当部を設け、責任をもって企画・運営をしていくという、新たな試みの発表がありました。メンバーも大幅に増えたあないびとの会の活躍を大いに期待するところです。



有松あないびとの会・新年会

緑区魅力向上・発信シンポジウム（1月19日）

緑区観光推進協主催のシンポジウムが緑文化小劇場で開催されました。基調講演では、セーラ・マリ・カミングスさんのテーマ「意志のあるところに、道は開ける」のお話に皆さんが熱心に耳を傾けていました。インパクトを与える町づくり、伝承と継続そして人材育成、見栄えより素顔を見せる町づくり、人と人のウィンウィンの関係などの助言がありました。緑区には25万人近い人が住んでいます。区民が一体となってまちづくりに取り組んでいけば大きな力となり、日本をリードしていく力を秘めていると締めくくられました。

続いて、各分野で活躍されている4人のパネリストにより「みんなで進めるシティプロモーション」をテーマにパネルディスカッションが行われました。

そこでは、緑区の知られているようで知られていない魅力を発掘し、戦略を立てて取り組んでいくという意見や、CMやパンフで宣伝する以上に個人の発信力の影響の大きさの再認識という指摘もありました。



「魅力発見・まるっと発信！」

文化財防火デー（1月26日）

北風が頬を刺す寒い1月26日朝9時より、絞会館駐車場を中心に文化財防火デーの消防訓練が実施されました。それぞれの地区で初期消火の訓練実施後、絞会館駐車場に集結し服部邸（井桁屋）からの出火を想定して総合消火訓練を実施しました。

緑消防署、有松消防団が駐車場南斜面に広がる竹藪を想定火点にして放水を行いました。訓練に参加した住民の方は三角バケツによる消火活動を体験しました。その後、緑消防署長、学区委員長の挨拶がありその日の訓練を終了しました。

2年に一回のそれもわずかな時間ですが、日頃からの訓練の積み重ね、防火意識の向上、火災発生時の的確な消火手順を身に付けることの大切さを再確認する一日となりました。

尚この模様はケーブルテレビ・12chで2月8日、放映の予定です。



緑消防署、有松消防団の放水訓練



住民によるバケツでの消火活動



出火想定場所（井桁屋）

有松は、天明4年（1784）大火に見舞われました。その後、尾張藩の援助もあり、江戸の町屋建築をモデルに防火に強い建物が造られ今の町並みを残しています。

また、防火への意識も高く火伏せの神を祀る秋葉社を各所（五ヶ所）に設けています。

有松天満社の守り人

有松天満社では、例年のことではありますが1月の元旦祭に始まり左義長、初天神祭、3月には天満社最大の春季大祭というように行事が多くあります。その一つ一つに参加することもなかなか大変なことですが、天満社の運営・管理の仕事となると準備から後片付けまで、儀式ということもあり気を遣うことが多いようです。またその時だけでなく日々の掃除、神社ですのでお賽銭の管理などを含めると、目に見えない仕事は山ほどあります。とても一人では大変な仕事です。

今年75歳になられる水野活昭さんは、天満社の神事係としてこういった仕事を足かけ15年続けてこられました。先の神事係の方との5年間の引き継ぎ期間も含めると、20年にわたって天満社を陰で支えてこられました。その水野さんが、今年の左義長をもって勇退されることになりました。勇退に当たってお話を伺いました。

N： 月並みですが、どんなことが大変でしたか？

水野さん： なんととっても、落ち葉の掃除です。以前は竹箒ではいていましたが、2時間もすれば元通りでした。それから鎌を使っていましたのでとても大変でした。5年ほど前、ブロワ（ブロア）や草刈り機を買っていただいだいぶ楽になりました。

N： 15年も続けてこられたのには、何か秘訣が・・・

水野さん： 健康のためでしょうか。また、賽銭泥棒に皆さんのお賽銭が盗られるのが悔しかったです。そのこともあり、お賽銭を毎日取りに来ました。それから、地域の皆さんにお会いできたことです。またそこで「昔はこうだった、ああだった」とお話を聞かせていただいたことです。

N： 嬉しかったことは？

水野さん： 昨年の春の大祭、初めての絞婚、そして元旦祭に孫が巫女をやらせていただいたことです。記念の写真も撮りました。

30分ほどのインタビューでしたが、水野さんのお人柄が存分に感じられた時間でした。長い間お疲れ様でした。ありがとうございました。



水野活昭さん



ブロワでの落ち葉掃除

催事・行事の予定

- ・2月01日（金） 09:10 有松小学校地域学習 絞会館
- ・～2月17日 10:00 日展 東海展 愛知県美術館
（1日と8日の14時より日展・工藤 潔氏による受賞作品の説明会が愛知県美術館であります。）
- ・2月03日（日） 07:00 愛知県知事選挙 有松東海道青空市
- ・2月05日（火） 18:15 初午前夜祭 祇園寺（稻荷社）
- ・2月08日（金） 09:10 東ヶ丘小学校地域学習 絞会館
- ・2月17日（日） 09:00 有松東海道青空市 有松商工会周り 青空市運営委員会
- ・2月18日（月） 18:00 有松町並み相談会 コミセン
- ・2月24日（日） 07:30 かえで道清掃（中止） 有松まちづくりの会
- ・2月25日（月） 18:00 有松まちづくりの会役員会 コミセン
- ・2月26日（火） 13:30 「緑区の歴史・文化再発見！」 緑区役所講堂
- ・2月中旬～3月 棚橋家竹林整備（重伝建環境物件）

発行責任者：竹田嘉兵衛（有松まちづくりの会 会長）

編集責任者：加藤 一成（T・F 052-623-1676 090-4163-2671 E-mail: katoisse@mc.ccnw.ne.jp）

編集者：伊藤 総俊、成田 満

有松まちづくりの会は、ホームページを公開してます。

有松のまち

検索